

「施策5-1 自らの未来を切り開き社会に貢献する人材の育成」の取組状況について

◆ 主な数値目標：

- 将来の夢や目標を持っている児童生徒（小6・中3）の割合（小6と中3の平均値） H27目標 88.0% → 実績 86.2%
- 高校生（公立）のインターンシップ参加率 H27目標 63.0% → 実績 57.4%

<平成27年度の取組状況>

- ・有識者等を委員とするキャリア教育の推進に関する協議会、小・中・高・特別支援学校のキャリア教育担当者を対象とした研究協議会の開催（写真上）
- ・児童生徒一人一人のキャリア教育に関わる活動やキャリア発達の状況を記録する「キャリアノート」等の効果的な活用の促進
- ・県政の課題を考え、ふるさとの活性化について考える「わかち県政体験」の実施
- ・県内大学との連携による大学で学ぶ学問や将来の職業等について理解を深める「将来設計ガイダンス」の実施（高校1年生を対象）
- ・キャリアアドバイザー^{注1}、就職支援員^{注2}等による就職情報ネットワークを活用した求人情報等の共有及び「キャリアアドバイザー通信」の作成・配布による全県の高等学校への情報発信
- ・工業や農業といった専門高校の老朽化した実習設備等の更新及び新しい技術に対応した機器の導入
- ・県外の航空機関連企業と航空専門学校の見学会や特別授業の実施（3月・写真下）
- ・県内企業への就職や専門性を生かした就職の促進に向けた、キャリアアドバイザーによる「ふるさと企業紹介」や若手起業家による講演の実施
- ・工業高校生の航空機関連企業及び情報関連企業への長期インターンシップの実施
- ・農業高校生の農家への長期（2週間程度）宿泊型インターンシップの実施

<平成27年度「提言」に対する平成28年度の取組状況>

- ・「将来設計ガイダンス」について、これまでの「宿泊」のほか「日帰り」での参加を可能とするほか、講師やパネルディスカッションのパネリストに県内出身の大学生等を招聘するなど、生徒が一層主体的に進路について考える機会を充実
- ・キャリアアドバイザー等を活用した地域や学校の特色に応じたキャリア教育の推進
- ・キャリアアドバイザー13名・就職支援員25名による就職情報ネットワークを活用した求人情報等の共有及び企業情報の提供等

<今後の主な重点施策>

- ・地域の活性化に貢献する活動や伝統や産業等を受け継ぐ活動等、キャリア教育の視点を重視したふるさと教育の充実
- ・有識者等を委員とするキャリア教育推進協議会や小・中・高の校種間を貫く「地域に根ざしたキャリア教育」の充実のための実践研究協議会等の開催
- ・児童生徒のキャリア発達の状況を記録した「キャリアノート」等の効果的な活用の促進
- ・“「問い」を發する子ども”の育成を全教育活動を通して取り組む最重点の教育課題として位置付け、学校教育の指針等により指導の充実を促進
- ・全高校で実施している「ふるさと企業紹介」や若手起業家による講演を通じた職業観の育成と大学進学者に対する秋田でのキャリア形成の理解促進
- ・航空機産業や情報関連産業等、各分野の企業が求める人材の育成を図るため県内企業等の専門人材を専門高校等の授業や実習で積極的に活用
- ・少子高齢化・人口減少社会を見据え、若者の県内定着を目指したふるさと秋田を支える人材の育成とキャリア教育の一層の推進
- ・産業構造の変化や成長分野を踏まえ、高等学校の授業等への企業・大学の専門人材の積極的な活用と、長期インターンシップ（10日以上）の推進



キャリア教育実践研究協議会



航空機関連企業の見学会

(注) 1 キャリアアドバイザー：高校生として望ましい職業観・勤労観をもたせ、社会的自立を促し、生徒の将来設計に対する支援を行う専門職。
2 就職支援員：就職ガイダンスの企画・実施、就職情報の活用・指導、カウンセリング等を行い、県内就職を支援する専門職。